

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ


















インドネシア



インド

市場概要・見通し（カナダ、ブラジル、メキシコ）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		2/23 (2/16との比較)	2/23 (2/16との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	2.25% (▲0.07)	84.62円 (+0.05%)	+3.0% 2017年3Q	1.25%	小売売上高は市場予想を下回る結果となるも、コアCPIが市場予想を上回り、中銀が目標としている2.0%に近付いたことが好感され、カナダドルは対円で上昇。国債利回りは低下。	10-12月期のGDP（国内総生産）などの発表やNAFTA（北米自由貿易協定）再交渉第7回会合を予定。特段進展がないと予想されるも、その動向には注意が必要。引き続き、原油価格や米国経済にも注意。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	8.81% (▲0.05)	33.00円 (+0.31%)	+1.4% 2017年3Q	6.75%	消費者信頼感は前回値を下回る結果。リオデジャネイロ州の治安権限が連邦政府に移管され、改正に十分な票を集められていない年金改革法案の採決を断念したことで、国債利回りは低下。レアルは対円で上昇。	10-12月期のGDPの発表などを予定。GDPの市場予想は前回値を上回っているものの、年金改革法案可決の断念を米大手格付機関がネガティブに捉えていることなどを受けて、レアルは上値の重い展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A-	7.50% (▲0.12)	5.76円 (+0.45%)	+1.5% 2017年4Q	7.50%	10-12月期のGDPは市場予想を下回る結果。中銀の議事録では、メンバーの過半は高インフレが長引いていると認識が示され、1人は今後も追加利上げが必要となる可能性を指摘。国債利回りは低下。ペソは対円で上昇。	2月のIMEF製造業指数などの発表やNAFTA再交渉第7回会合を予定。大統領選挙やNAFTA再交渉の動向が意識されやすい中、中銀がインフレ圧力の抑制に努めているため、ペソの下値は堅い展開を想定。
	A3	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		2/23 (2/16との比較)	2/23 (2/16との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
オーストラリア 	AAA	2.85% (▲0.08)	83.83円 (▲0.15%)	+2.8% 2017年3Q	1.50%	中銀は議事録を発表も、特段目新しい材料は無し。発表された賃金指数が市場予想を上回る結果となるも、近い将来の利上げ確率を高めるほど強い内容とはならず、豪ドルは対円で下落。国債利回りは低下。	民間部門信用などの発表を予定。雇用統計や賃金指数が市場予想を上回り、同国の労働環境の回復がうかがえることから、豪ドルの下値は堅いものの、米国の経済動向に左右される展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.96% (▲0.02)	78.05円 (▲0.53%)	+2.7% 2017年3Q	1.75%	10-12月期のPPI（生産者物価指数）の伸び率は前四半期とほぼ同水準となりインフレの兆しは見られず。小売売上高は、低い伸びとなった前回の反動もあり増加。ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは小幅低下。	企業景況感や貿易収支、交易条件指数などの経済指標の発表などを予定。早期の政策金利引き上げの機運が高まりにくい中、債券・為替市場は主要国の影響を受けた動きとなりやすい環境。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.89% (▲0.01)	13.67円 (+0.22%)	+1.4% 2017年4Q	0.50%	石油産業の設備投資調査では、2018年の設備投資が前年よりも1割程度増加することが示されるなど、石油産業でも回復の動き。原油価格も週間で上昇する中、ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	小売売上高や製造業PMI、製造業賃金指数などの発表を予定。実体経済が着実に改善しており、今後も各種経済指標に力強さが見られれば、政策金利引き上げに対する期待が高まりやすい環境。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		2/23 (2/16との比較) 今後の見通し (※4)	2/23 (2/16との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3) 景気方向性 (※6)	先週末 方向性 (※7)		
南アフリカ 	BB+	7.42% (▲0.00)	9.25円 (+0.69%)	+0.8% 2017年3Q	6.75%	先行指標は前回値を下回る結果。発表された2018年度予算案で、付加価値（VAT）税の引き上げなど財政健全化に向けた策が示されたことで、格下げ懸念が後退し、ランドは対円で上昇。国債利回りは横ばい。	財政収支や貿易収支などの発表を予定。貿易収支は市場予想では赤字を見込む。3月に米大手格付機関レビューを控える中、内閣改造など政治改革の行方に注目。
	Baa3	 金利横ばい	 金利低下	 景気安定	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	5.85% (+0.07)	0.78円 (▲0.39%)	+5.2% 2017年4Q	4.25%	主要な経済指標の発表は特段なし。米金利上昇を嫌気してリスク回避的な投資行動となり、ルピアは対円で下落。海外投資家による資金流出などを受け、国債利回りは上昇。	CPIなどの発表を予定。欧米諸国の金利上昇から国債利回りは上昇しやすい地合いだが、インドネシアのルピア建て債券が投資適格級債券を対象とする指数に採用されると発表されたため、長期的にルピアの上昇要因となる。
	Baa3	 金利低下	 金利横ばい	 景気拡大	 利下げ局面		
インド 	BBB-	7.53% (+0.05)	1.65円 (▲0.22%)	+6.3% 2017年3Q	6.00%	主な経済指標の発表は無し。発覚したインドの大手国営銀行による不正取引の被害額が多額であると報じられたことなどを背景に、ルピーは対円で下落。国債利回りは上昇。	10-12月期GDPや2018年度GDP予想などの発表を予定。2018年度GDP予想は2017年度よりも低下が見込まれる。債券・為替市場は原油価格や欧米諸国の利上げ局面の動向に左右される展開を想定。
	Baa2	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面		

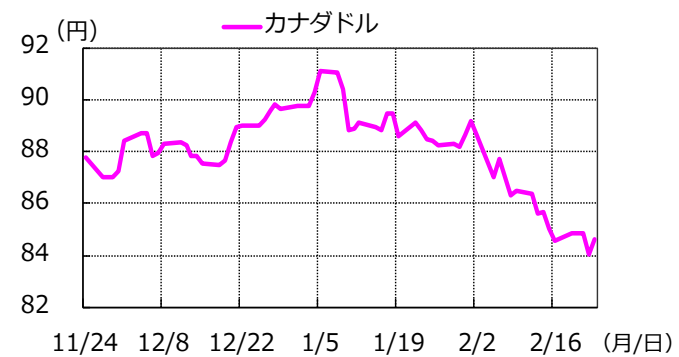
（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

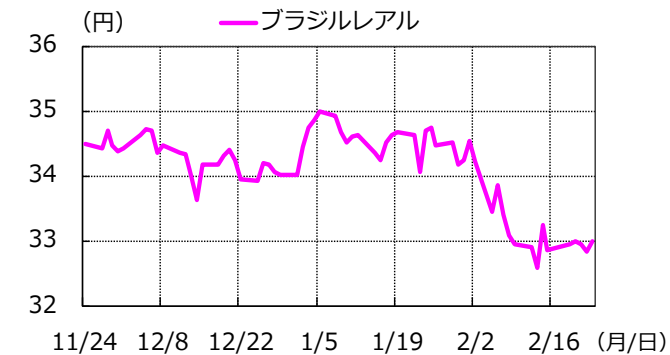
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/11/24～2018/2/23

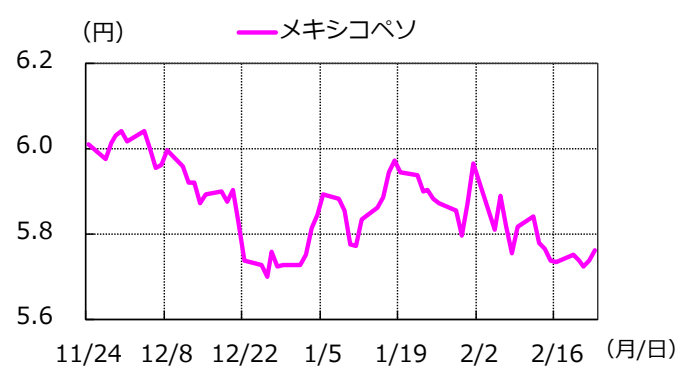
カナダ



ブラジル



メキシコ

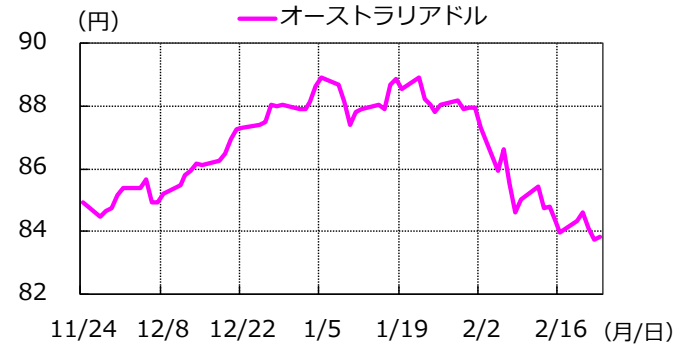
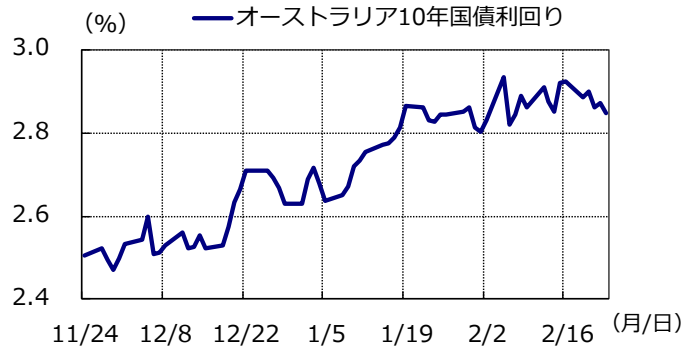


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

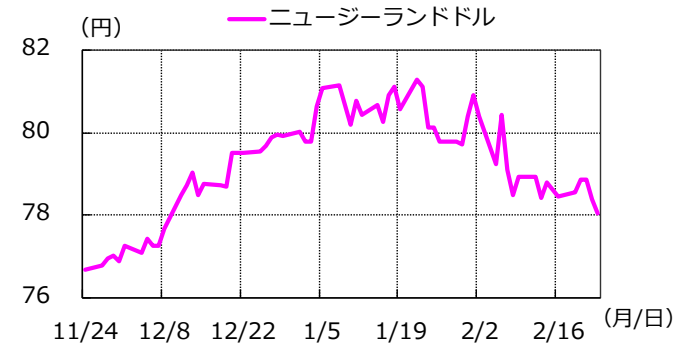
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/11/24～2018/2/23

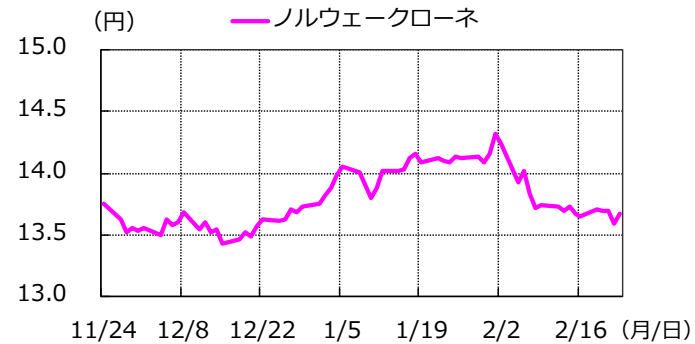
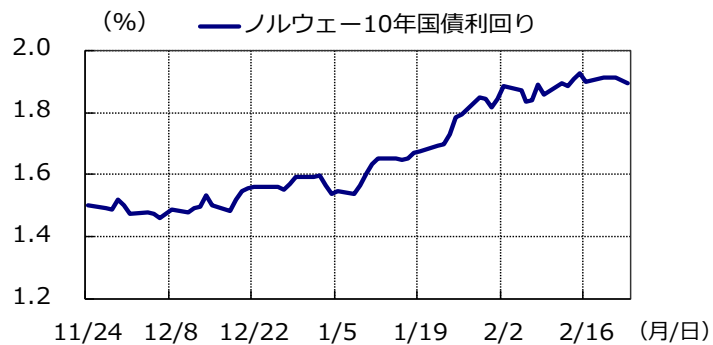
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

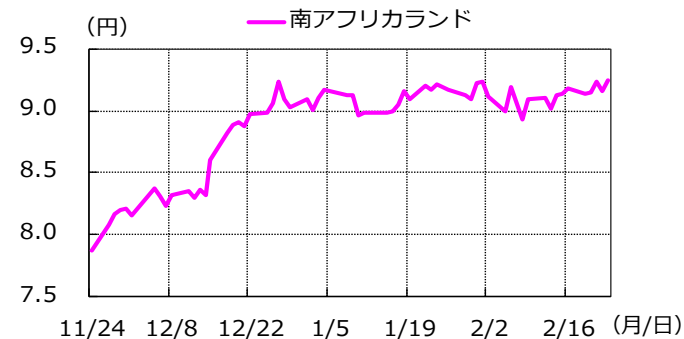


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

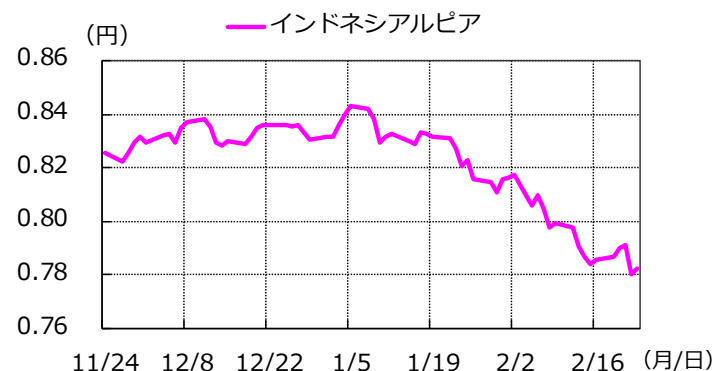
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/11/24～2018/2/23

南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。